

「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果について

この調査は、小学校6年生・中学校3年生を対象に、学力及び学校生活や家庭生活の様子を把握し、今後の学習や生活の改善に必要な取り組みを検証していくために実施されているもので、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は2年ぶりに実施されました。

小学校

国語…全国の平均正答率をやや下回っています。
算数…全国の平均正答率を下回っています。

中学校

国語…全国の平均正答率をやや下回っています。
数学…全国の平均正答率をやや下回っています。

木曾岬町では、国語・算数(数学)ともに全国の平均正答率を下回る結果となりました。

小中学校ともに、国語では、自分の考えをまとめたり読み取った内容を要約したりすることに、算数(数学)では、事柄に対して数学的に考え記述することに課題が見られました。

これまでも、『子どもたちに読んでほしい 100 冊』をまとめたリーフレット『読書登山』を活用し、子どもたちの読書意欲を高めるよう取り組んできましたが、まだまだ十分な成果が出すには至りませんでした。今後も読書啓発を継続しつつ、さらなる国語の授業改善に取り組み、課題である文章を読み解く力を伸ばすことに注力していきます。算数(数学)に対しても、日々の授業の中で、物事を根拠に基づき、論理的に考え記述するような場面を取り入れた授業を進めていきます。

また、学校での授業においてタブレット端末を効果的に活用し、自分の考えを整理しクラスメイトと共有することで学びを深める「協働的な学習」や、一人一人の理解度に合わせて苦手分野を克服する「個別最適化学習」に取り組むなど、学校と連携を図りながら学力向上につながる授業を進め、子どもたちの学びを支援していきます。